



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <https://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	130,290	△23.7	4,010	△85.8	4,042	△85.6	3,093	△83.0
2020年3月期第2四半期	170,773	6.1	28,314	△7.8	28,046	△14.0	18,192	△18.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,565百万円 (△91.2%) 2020年3月期第2四半期 17,816百万円 (△17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	54.23	—
2020年3月期第2四半期	318.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	299,628	231,163	71.9	3,778.15
2020年3月期	308,606	240,202	72.5	3,920.41

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 215,534百万円 2020年3月期 223,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	95.00	—	95.00	190.00
2021年3月期	—	60.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,600	△12.5	17,200	△57.2	18,200	△55.5	12,500	△53.2	219.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	60,592,541株	2020年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,544,748株	2020年3月期	3,549,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	57,044,892株	2020年3月期2Q	57,043,510株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）

セグメントの名称	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	131,918	77.3	100,855	77.4	△31,063	△23.5
コスメタリー事業	36,732	21.5	28,184	21.6	△8,547	△23.3
その他	2,122	1.2	1,250	1.0	△872	△41.1
売上高計	170,773	100.0	130,290	100.0	△40,482	△23.7

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	28,314	16.6	4,010	3.1	△24,304	△85.8
経常利益	28,046	16.4	4,042	3.1	△24,004	△85.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,192	10.7	3,093	2.4	△15,098	△83.0

① 概況

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありましたが、足元では下げ止まりつつあります。化粧品業界においては、2020年度の経済産業省化粧品出荷統計（2020年4月1日から2020年8月31日）によりますと、販売個数・販売金額ともに前年を下回りました。

海外において当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済（2020年1月1日から2020年6月30日まで）においては、中国では回復の動きがみられますが、それ以外のアジア各国では厳しい状況にあり、米国では依然厳しい環境下ながらも経済活動再開により景況感には改善の動きもみられます。

このような市場環境の中、当社グループにおいては、過去の苦しい局面においてピンチをチャンスに変えてきた経験・ノウハウを有しており、今後もグローバル・ボーダレスに事業を拡大していくためにリスクに強い企業に進化すべく、課題に取り組み、改革を進めています。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、中国での販売が好調だったものの、日本および中国以外の各国で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、売上高は前年同期比23.7%減の130,290百万円（為替の影響を除くと前年同期比22.8%減）となり、連結売上高に占める海外売上高の割合は39.4%となりました。

利益については、上記理由による売上高の減少により、営業利益は4,010百万円（前年同期比85.8%減）、経常利益は還付消費税等の発生により4,042百万円（同85.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,093百万円（同83.0%減）となりました。

② セグメント別の状況

(a) 化粧品事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	131,918	100,855	△31,063	△23.5
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	131,918	100,855	—	—
営業利益	百万円	30,438	9,378	△21,059	△69.2
営業利益率	%	23.1	9.3	—	—

化粧品事業は、中国では「デコルテ」がすべてのチャネルで好調に推移しました。日本では、高保湿エイジングケアブランド「ルシェリ」がプラス成長となり、「デコルテ」の新エイジングスキンケアライン「リフトディメンション」、「雪肌精」の新スキンケアライン「雪肌精クリアウェルネス」、「ONE BY KOSÉ」の薬用保湿美容液をリニューアルした「セラム ヴェール」などの新製品発売もありましたが、それ以外の主要ブランドが総じてマイナス成長となりました。また、インバウンド売上が大きく減少したこともあり、売上高は100,855百万円（前年同期比23.5%減）、営業利益は9,378百万円（同69.2%減）となりました。

(b) コスメタリー事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	36,732	28,184	△8,547	△23.3
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	36,732	28,184	—	—
営業利益	百万円	446	△1,906	△2,353	—
営業利益率	%	1.2	—	—	—

コスメタリー事業は、コロナ禍で需要が高まっている「リップ ジェル マジック」や「カール キープ マジック」などが売上に貢献しました。また、ヘアケアブランドの「スティープンノル ニューヨーク」、コーセーコスメポート㈱の『グレイスワン』が好調に推移しましたが、クレンジング市場、日焼け止め市場、シートマスク市場の不振により、売上高は28,184百万円（前年同期比23.3%減）、営業損失は1,906百万円（前年同期は446百万円の営業利益）となりました。

(c) その他

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	2,122	1,250	△872	△41.1
セグメント間の売上高	百万円	313	261	—	—
売上高計	百万円	2,435	1,511	—	—
営業利益	百万円	647	204	△442	△68.4
営業利益率	%	26.6	13.6	—	—

その他の事業は、ホテルやゴルフ場向けアメニティ製品の販売やOEM生産の受注が減少したため、売上高は1,250百万円（同41.1%減）、営業利益は204百万円（同68.4%減）となりました。

③ 地域別売上高（外部顧客に対する売上高）の状況

	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	119,775	70.1	78,896	60.5	△40,879	△34.1
アジア	31,367	18.4	36,705	28.2	5,338	17.0
北米	16,721	9.8	12,993	10.0	△3,728	△22.3
その他	2,908	1.7	1,695	1.3	△1,213	△41.7
売上高計	170,773	100.0	130,290	100.0	△40,482	△23.7

<日本>

メゾンコーセーを中心としたプロモーション効果もあり、Eコマースは好調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛に伴う来店客数の減少や購買意識の低下に加え、インバウンド需要が激減したため、百貨店チャンネルをはじめ、主要な販売チャンネルでマイナス成長となりました。これらの結果、売上高は78,896百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

<アジア>

新型コロナウイルス感染症が終息しつつある中国では、Eコマースが引き続き伸長しており、ロックダウン解除後は百貨店チャンネルも一気に回復しました。また、中国政府の強化策により免税チャンネルも大変好調に推移し、さらに、5月からTmallで販売を開始した「デコルテ」のAQラインと「雪肌精みやび」も売上に貢献しました。中国以外では、韓国、台湾を中心に新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けました。これらの結果、売上高は36,705百万円（同17.0%増）となりました。

<北米>

タルトは、新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンや外出規制の影響を大きく受ける中、Eコマースによる売上が大変好調に推移しましたが、店頭売上減少分をカバーするには至りませんでした。その結果、売上高は12,993百万円（同22.3%減）となりました。

<その他>

欧州におけるタルトは、店舗は5月以降順次営業を再開していますが、新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンや外出規制の影響を受けました。その結果、売上高は1,695百万円（同41.7%減）となりました。経済活動が再開しつつある9月以降、未進出国および既存進出国での新規出店を進めていきます。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月30日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,556	87,104
受取手形及び売掛金	38,371	35,099
商品及び製品	35,775	36,863
仕掛品	3,472	2,736
原材料及び貯蔵品	22,192	25,530
その他	7,146	6,184
貸倒引当金	△77	△72
流動資産合計	204,438	193,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,590	52,298
減価償却累計額	△22,671	△22,388
建物及び構築物（純額）	22,919	29,909
機械装置及び運搬具	18,543	21,570
減価償却累計額	△13,290	△13,555
機械装置及び運搬具（純額）	5,252	8,015
工具、器具及び備品	43,151	44,149
減価償却累計額	△34,581	△35,290
工具、器具及び備品（純額）	8,570	8,858
土地	17,569	17,344
リース資産	2,000	2,155
減価償却累計額	△1,356	△1,443
リース資産（純額）	643	712
建設仮勘定	11,068	387
有形固定資産合計	66,022	65,228
無形固定資産		
ソフトウェア	3,245	3,652
のれん	5,794	5,305
その他	5,733	5,703
無形固定資産合計	14,774	14,662
投資その他の資産		
投資有価証券	13,433	14,074
繰延税金資産	6,272	7,810
その他	3,900	4,647
貸倒引当金	△236	△239
投資その他の資産合計	23,370	26,293
固定資産合計	104,167	106,183
資産合計	308,606	299,628

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,196	6,478
電子記録債務	15,513	17,146
短期借入金	727	7,635
リース債務	214	248
未払金	13,086	8,428
未払費用	12,296	10,943
未払法人税等	4,232	3,497
未払消費税等	1,537	—
返品調整引当金	1,967	1,791
その他	3,903	3,343
流動負債合計	59,676	59,514
固定負債		
リース債務	712	754
役員退職慰労引当金	3,334	—
退職給付に係る負債	4,346	3,767
その他	332	4,428
固定負債合計	8,727	8,950
負債合計	68,403	68,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	15	—
利益剰余金	223,665	216,848
自己株式	△9,103	△9,093
株主資本合計	219,425	212,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,434	4,675
為替換算調整勘定	1,063	△461
退職給付に係る調整累計額	△1,289	△1,282
その他の包括利益累計額合計	4,208	2,932
非支配株主持分	16,569	15,628
純資産合計	240,202	231,163
負債純資産合計	308,606	299,628

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	170,773	130,290
売上原価	44,304	36,777
売上総利益	126,468	93,512
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	10,948	7,752
販売促進費	31,027	27,462
運賃及び荷造費	7,600	7,311
給料及び手当	25,668	24,784
退職給付費用	391	652
法定福利費	3,781	3,824
減価償却費	1,989	2,205
その他	16,746	15,509
販売費及び一般管理費合計	98,153	89,502
営業利益	28,314	4,010
営業外収益		
受取利息	236	133
受取配当金	75	159
還付消費税等	185	375
特許実施許諾料	12	6
雑収入	209	297
営業外収益合計	718	972
営業外費用		
支払利息	1	8
支払手数料	6	5
投資事業組合運用損	32	33
為替差損	924	841
雑損失	21	50
営業外費用合計	986	940
経常利益	28,046	4,042
特別利益		
固定資産売却益	10	1,007
投資有価証券売却益	0	—
事業整理益	115	—
特別利益合計	125	1,007
特別損失		
固定資産処分損	187	71
その他	4	—
特別損失合計	191	71
税金等調整前四半期純利益	27,981	4,977
法人税、住民税及び事業税	7,900	3,797
法人税等調整額	773	△1,675
法人税等合計	8,674	2,121
四半期純利益	19,307	2,855
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	1,114	△237
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,192	3,093

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	19,307	2,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	242
為替換算調整勘定	△1,651	△1,544
退職給付に係る調整額	△157	11
その他の包括利益合計	△1,490	△1,290
四半期包括利益	17,816	1,565
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,739	1,817
非支配株主に係る四半期包括利益	1,076	△252

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,981	4,977
減価償却費	4,068	4,594
のれん償却額	401	395
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7	△0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	416	△3,334
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△809	△571
その他の引当金の増減額（△は減少）	47	△285
固定資産処分損益（△は益）	177	△935
受取利息及び受取配当金	△311	△292
支払利息	1	8
為替差損益（△は益）	332	429
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	—
投資事業組合運用損益（△は益）	32	33
事業整理益	△115	—
売上債権の増減額（△は増加）	△3,217	3,039
たな卸資産の増減額（△は増加）	△6,409	△3,968
仕入債務の増減額（△は減少）	△117	1,997
その他の資産の増減額（△は増加）	2,082	871
その他の負債の増減額（△は減少）	△1,369	△4,236
その他	4	—
小計	23,186	2,720
利息及び配当金の受取額	343	301
利息の支払額	△4	△6
法人税等の支払額	△10,165	△1,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,360	1,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,878	△1,365
定期預金の払戻による収入	8,023	4,898
有形固定資産の取得による支出	△8,815	△5,766
有形固定資産の売却による収入	10	1,502
有形固定資産の除却による支出	△66	—
無形固定資産の取得による支出	△939	△867
投資有価証券の取得による支出	△561	△282
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
子会社株式の取得による支出	△5	△45
貸付けによる支出	△153	△204
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△163	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,549	△2,292

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	124	6,909
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△5,419	△5,419
非支配株主への配当金の支払額	△205	△256
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△4,930
子会社の自己株式の取得による支出	△19	—
その他	△118	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,638	△3,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,396	△1,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,224	△6,488
現金及び現金同等物の期首残高	64,264	70,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,040	63,795

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年6月15日付で、連結子会社Tarte, Inc.の株式1.96%を4,930百万円で追加取得いたしました。この結果、当社の議決権比率は100%となり、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が15百万円、非支配株主持分が431百万円減少しております。

当該取引により、資本剰余金の残高が負の値となったため、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）に基づき、繰越利益剰余金4,483百万円を資本剰余金へ振り替えております。

（追加情報）

（役員退職慰労金制度の廃止）

当社は、役員退職慰労金の支払いに充てるため、役員退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」として計上しておりましたが、2020年5月25日開催の当社取締役会において、2020年6月26日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認されました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分4,063百万円を、「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りの仮定から重要な変更は行っておりません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	131,918	36,732	168,651	2,122	170,773	—	170,773
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	313	313	△313	—
計	131,918	36,732	168,651	2,435	171,086	△313	170,773
セグメント利益	30,438	446	30,884	647	31,531	△3,217	28,314

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	27
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,245

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
119,775	31,367	16,721	2,908	170,773

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	100,855	28,184	129,040	1,250	130,290	—	130,290
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	261	261	△261	—
計	100,855	28,184	129,040	1,511	130,551	△261	130,290
セグメント利益又は損失(△)	9,378	△1,906	7,471	204	7,675	△3,665	4,010

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△18
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,647

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
78,896	36,705	12,993	1,695	130,290

(重要な後発事象)

(雇用調整助成金収入)

当社及び国内子会社は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金の交付を受けております。

(1) 助成金の入金日 2020年10月

(2) 助成金の交付額 2,226百万円

(3) 損益に与える影響 2021年3月期第3四半期連結会計期間において、営業外収益で計上します。